

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

6月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2023.8.20 No.104



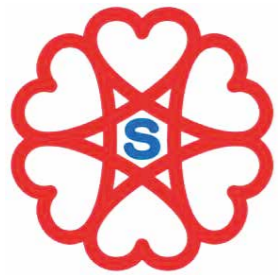
特集

市商工会女性部
×
市議会

MENU

- 特集…………… P 2
- 大盛況！夏休み子ども議会探検 …… P 4
- なしおふれあいトーク報告 …… P 6
- こんなことを聞きました …… P13
- Future…………… P22

女性部長



特集

市商工会
女性部

×

市議会



商売や地域間交流、 さまざまなふれあいを大切に

議員には、市民の小さな声も、大きな声も 聴いてもらいたい



那須塩原市商工会女性部は、女性目線を生かし、地域振興・発展の良き協力者であることや、豊かなまちづくりの担い手になることを目的とし、地域の応援団として活動をしている。部員は令和5年4月1日現在で68名。

<女性部の活動のやりがい、楽しいことは？>

地域間の交流や、活動を通してさまざまな業種の人とたくさんのお会いがあり、学ぶことも多いです。地域の人や子どもたちとの交流もとても楽しく、やりがいを感じます。

<活動で苦労していることは？>

部員が少なくなってきたことが一番の悩みです。現在は限られた部員数でできる活動を行っていますが、商工会や女性部について、もっと広くPRをして、地域とのつながりを密にしていきたいです。

<女性の活躍をどのように促進しているのか？>

女性部では今年度から、地域内の清掃やプランターの設置など担当する美化委員会や、エコバック配布、地域応援スタンプラリー等の企画を行うプロジェクト実行委員会などの専門委員会を設けています。スキルアップを目指し、女性部員自らが企画、段取りを行うようにしています。

また、商工会で毎年開催している創業支援塾や経営革新塾等から女性の創業者も輩出しています。

<地域の商工業界における女性の役割として大切にしていることは何か？>

地元のお客様に支えられて商売をさせていただいているので、お客様への恩返しの気持ちを忘れないことを大切にしています。また、地域の方と接点を持って女性部活動を続けていきたいと思っています。

<独自の活動として行っていることは？>

女性部では年に1度必ず先進地視察研修を行っています。地域間交流も兼ねており、互いに情報交換をしています。さまざまな情報を得て、活動の参考にしています。

<今後の商工会女性部のあり方について>

限られた人数ではありますが、地域とのふれあいを大切にしておき、他団体との交流も考えていきたいです。事業継承についても、後継者に那須塩原市で商売をしてよかったと思ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。

<今後の那須塩原市のあり方について>

生乳生産全国2位の酪農のまちとして、観光のまちとしてもっとPRをしても良いと思います。また、子育て環境を充実させ、子どもが元気に育つまちづくりを

目指してもらいたいと思います。

<市議会議員に望むことは？>

議員さんが何をしているのかがまだ市民にとっては見えにくいと感じているので、もっと広く活動について発信してもらえたら良いなと思っています。

また、これまで以上に市民目線で那須塩原市の発展のために一緒に活動し、盛り上げていけると良いと思います。市民の声には小さな声と大きな声とさまざまな声がありますが、市民目線で市民の声を拾っていただきたいです。

夏休み子ども議会探検 盛り上がりました

当日の様子を一部レポートします。(2023.8.2)

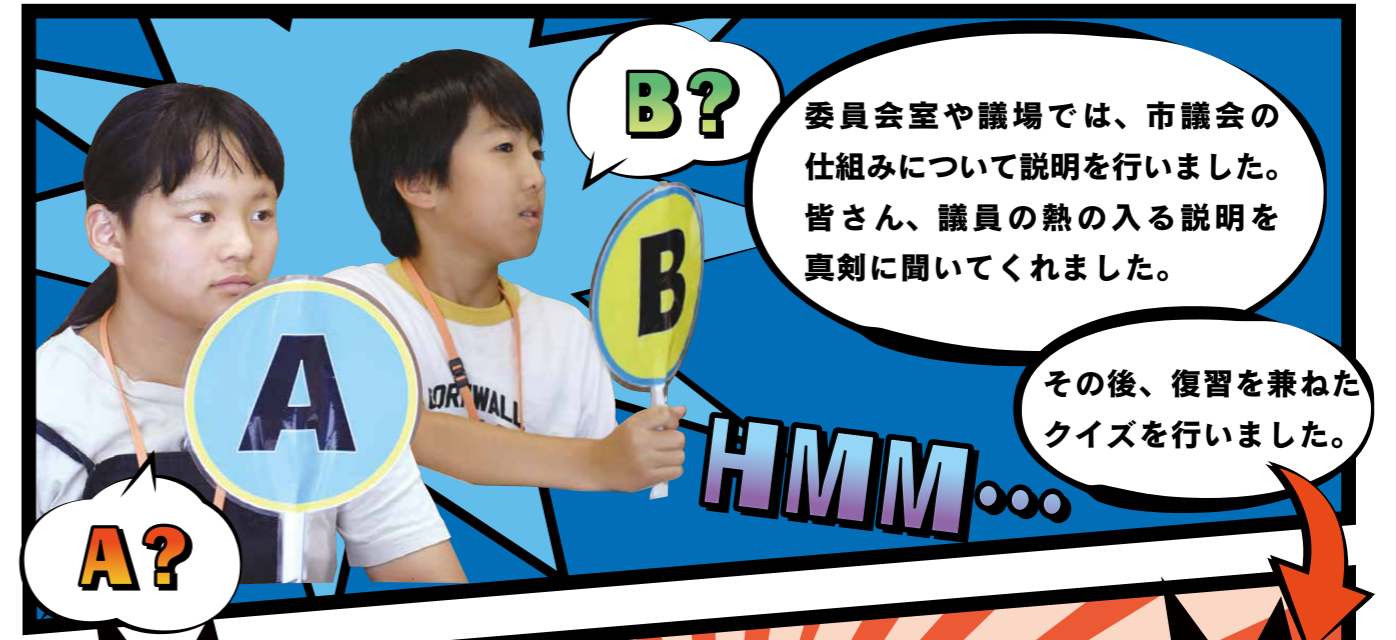


参加者の皆様を法被姿でお出迎え。この日のために広聴広報委員をはじめ議員一丸となって準備を進めてきました。



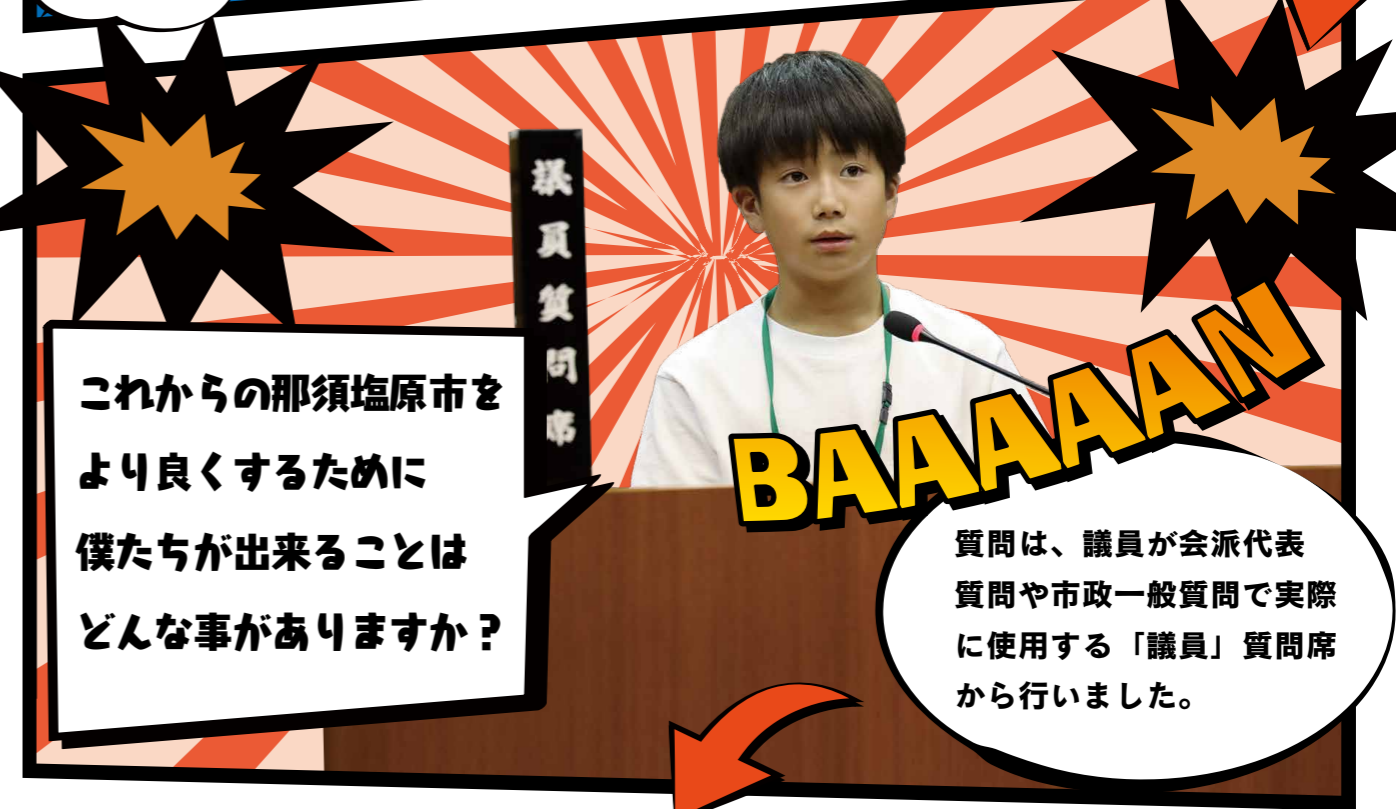
正副議長室では、正副議長と名刺交換を行った後、議長席で記念撮影を行い、正副議長と懇談しました。

議会の役割や仕組みの学習、議員との交流をとおして、市議会に興味を持ってもらうことを目的に、市内在住の小学校5年生、6年生を対象に開催しました。参加者は議員による議会の仕組みの説明を受け、正副議長と名刺交換を行い、最後には議場で質問を行いました。



委員会室や議場では、市議会の仕組みについて説明を行いました。皆さん、議員の熱の入る説明を真剣に聞いてくれました。

その後、復習を兼ねたクイズを行いました。



これからの那須塩原市をより良くするために僕たちが出来ることはどんな事がありますか？

質問は、議員が会派代表質問や市政一般質問で実際に使用する「議員」質問席から行いました。



議会報告会&意見交換会 「なしおふれあいトーク」を開催しました。

第20回目となる議会報告及び意見交換会「なしおふれあいトーク」を、令和5年6月10日（土）に東那須野公民館で開催しました。今回は、4年ぶりに議員全員が一カ所に集合しての開催となりました。当日は、2つのテーマについてたくさんの意見をいただいたので、その一部を紹介します。

テーマ1 少子化対策について



少子化になった根本的な原因は何か？



父親ももっと子育てに関わる社会環境や意識を高めないとね



結婚に魅力を感じないし、結婚しないほうが楽だよ



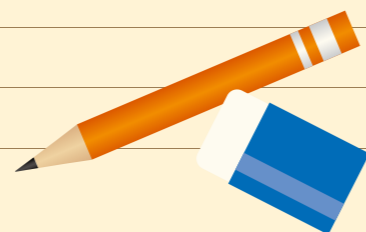
子どもを3人以上育てる家庭の大幅な所得税減税などの支援が必要だと思うわ...



子育てする職場の環境を整備しないと



昔は結婚するのが当たり前だった。今は未婚者が多いので結婚相談センターを活用して対策を立てることが大切だと思う



テーマ2 社会の多様性について



家庭や地域コミュニティの果たす役割は大きい



都会と地方で価値観が違う



多様性への無関心は良くないことなので、教育の機会を充実させるべき



合意形成を図ることは難しいよね



夫婦別姓は、まず認めてあげてほしいなあ



子どもの世界では多様性が当たり前だよ



討論

市議会レポート①

議員2名がベトナム社会主義共和国・カントー市を訪問

6月16日から19日までの4日間、市長トップセールスに、眞壁副議長と松田議員（前議長）が同行しました。

現地では、農業や観光を中心に活発な意見交換が行われ、今後の両市のさらなる発展に向けた相互連携を深めました。また、本市のPRとして、特産物の展示販売を実施したり、民間企業を含めた交流会なども行われました。



眞壁副議長による意見交換会での閉会の挨拶

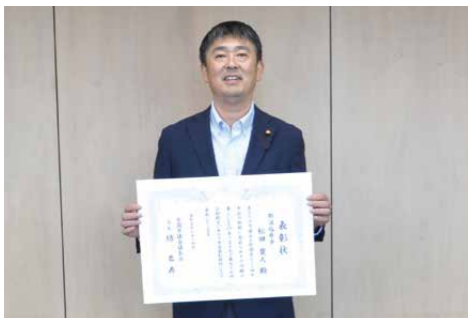


特産物の展示販売の様子

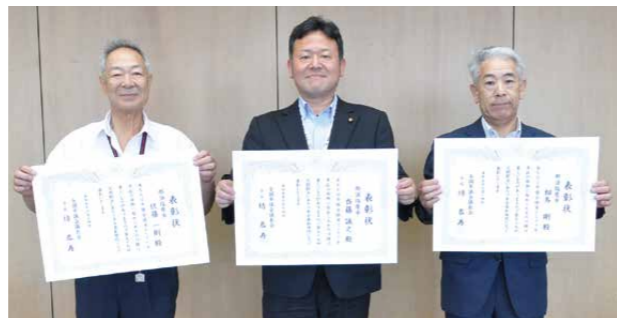
市議会レポート②

全国市議会議長会から表彰

市議会議長・副議長として通算4年在職した議員1名と、市議会議員として10年在職した議員3名、20年在職した議員4名に対し、全国市議会議長会から、市政の振興に貢献したことにより、表彰状が贈られました。



議長・副議長4年表彰
松田寛人 議員



市議会議員10年表彰
左から 佐藤一則 議員、齊藤誠之 議員、相馬剛 議員



市議会議員20年表彰
左から 中村芳隆 議員、山本はるひ 議員、
玉野宏 議員、金子哲也 議員

令和5年度 那須塩原市一般会計補正予算（第3号）

賛成 ●那須高林産業団地地中障害物に関する損害賠償については本日賛成多数で可決された。工場建設が遅れると賠償額が増加し、企業との信頼関係も危ういものになる。早期の工場建設による生産開始が最も重要である。（小島 耕一議員）

反対 ●補正予算のうち、2億5,584万円は、那須高林産業団地で発見された規定外の石に対する損害賠償として市が財政調整基金を取り崩し支払うとしている。原因者と県土地開発公社の責任も明確でない。回収見込みが立っていない財政調整基金からの支出に反対する。（堤 正明議員）

損害賠償の額の決定及び和解について（議案第64号、議案第65号）

賛成 ●原因者を特定するまで対応しないとなれば、操業開始が今よりも遅れ、操業遅延に対する賠償金額がさらに増加する。那須高林産業団地に立地した企業の操業をできる限り円滑に進めることが、本市の雇用の創出や地域産業の振興に寄与することと考える。（中里 康寛議員）

反対 ●那須高林産業団地の分譲済み区画において、地中障害物による損害を与えたものとして、相手方に対して賠償金を支払うとあるが、原因者の特定と県土地開発公社の責任等も明らかになっていない。現時点における損害賠償の支払いと和解に反対する。（堤 正明議員）

各議員の議案に対する賛否の状況

陳情と賛否の分かれた案件のみ記載しています。

党派	サステイナブル21	シン・那須塩原	公明クラブ	志絆の会	敬清会	かがやき	農業と環境の会	日本共産党	採決結果																	
議員名	林美幸	室井孝幸	益子丈弘	山形紀弘	中里康寛	佐藤一則	中村芳隆	森本彰伸	齊藤誠之	相馬剛	松田寛人	齋藤寿一	鈴木秀信	田村正宏	星野健二	星宏子	小島耕一	鈴木伸彦	眞壁俊郎	金子哲也	平山武	大野恭男	玉野宏	山本はるひ	三本木直人	堤正明
陳情第5号	■別荘地内の太陽光発電設備事業に関する陳情																									不採択
陳情第6号	■別荘地内における太陽光発電設備設置に関する陳情																									不採択
議案第61号	■令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第3号）																									可決
議案第64号	■損害賠償の額の決定及び和解について																									可決
議案第65号	■損害賠償の額の決定及び和解について																									可決

【○】は賛成 【×】は反対

こんなことを審査・調査しました

※ ◎は委員長、○は副委員長

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
 【委員】◎森本彰伸○林美幸、三本木直人、田村正宏、齊藤誠之、佐藤一則、平山武、松田寛人、金子哲也

特例で固定資産税の軽減が図られます

問 今回改正されたわがまち特例について伺う。

答 固定資産税の特例措置の一部であり、法律の範囲内で、地方自治体の実情に応じた特例を定めることができる、地域決定型地方税制特例措置のこと。本市のわがまち特例については、現行で29件を規定し、軽減率は国の参酌基準を用いている。

問 税の軽減対象となる大規模修繕マンションの規模を伺う。

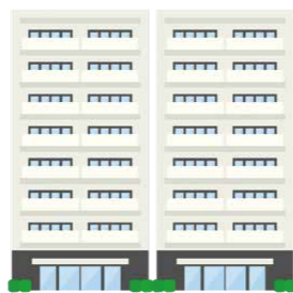
答 対象は、築20年以上経過している10戸以上のマンションである。既に長寿命化工事を行っており、修繕積み立て金等が積んであることが条件である。

佐野地区衛生施設組合が解散しました

問 佐野地区衛生施設組合が解散する経緯を伺う。

答 佐野地区衛生施設組合は、佐野市、栃木市で組織されており、し尿処理場に関する事務と火葬場に関する事務を共同処理している。令和5年10月1日

に栃木市新火葬場が供用されることにより、共同処理を行う事務が、し尿処理場に関する事務のみになることから、共同処理の方法を変更し、佐野地区衛生施設組合が、令和5年9月30日をもって解散することになった。



福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
 【委員】◎益子丈弘○星宏子、堤正明、鈴木秀信、室井孝幸、相馬剛、眞壁俊郎、山本はるひ、玉野宏

箒根学園開校に伴い、新しい体育館を整備します

問 箒根学園体育館改築工事の予定価格を決める積算根拠、また、落札額は予定価格に対して何割なのか伺う。

答 予定価格の積算根拠は県の示す単価表を基に積算している。積算のないものは建設物価や刊行物の単価を採用している。また、予定価格に対する落札額の割合については、99%である。

問 本契約の中に水道や電気関係の工事も含まれているのか伺う。

答 含まれていない。別途契約を予定している。



建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
 【委員】◎大野恭男○小島耕一、山形紀弘、星野健二、中里康寛、鈴木伸彦、中村芳隆、齋藤寿一

那須高林産業団地に立地した企業の操業を出来る限り円滑に進めるために賠償を行います

問 将来の撤去費用について、操業が始まってから増築して行う部分においては、どのような損害賠償率で出していくのか。

答 当該立地企業については、全面を掘削しているので全て確認したうえで積算している。他の企業については、今回掘削をしていない部分についても、今回の工場棟を建てたときに出てきた碎石の量と同じ割合で700mm超えの碎石が出るであろうという想定で積算している。

問 市独自に全部きれいにする考えはなかったのか。

答 ある程度、工事が進んできている状態で、市が途中で碎石を撤去するということは、現実的に難しい状況であったことから、立地企業に碎石の掘削についてお願いをする判断をした。

問 原因究明が重要である。これから関係機関からの資料提供を経て調査すると思われるが、証拠集めはどのような形で行うのか。

答 現段階ではトンネル工事の施工業者、産業団地を造成した時の工事業業者の両者に当時の状況を確認し、調査を進めている。今後、石がトンネル工事によるものか否かを特定させる方法を検討している。手法については明らかになった時点で改めて説明する。



予算常任委員会

【委員】◎森本彰伸 ○益子丈弘 ○大野恭男、その他全議員

音楽フェスティバルが開催されます

問 音楽フェス開催に至るまでの経緯について伺う。

答 このイベントは、実行委員会形式で実施する。主催者はGREEN（グリーン）WITH（ウィズ）SEA（シー）実行委員会です。趣旨としては、もともと海の環境保全というテーマでイベントを行っていた経緯がある。海をきれいにするためには、山の自然もきれいにしなければならないということから、山での開催を模索していたところ、県と調整する中で那須野が原公園で開催するに至った。併せて、ここにブースを出展して、ONSEN・ガストロノミーウォーキングへの参加を促す。

自治総合センターコミュニティに助成しています

問 自治総合センターコミュニティ助成事業対象団体に、助成申請を促す啓発や申請支援を行っているか伺う。

答 制度についてのPRを行っており、毎年1~2件の申請、決定を受けている。支援については、コミュニティ担当職員がいる公民館では公民館職員が行っ

ているが、内容全般については市民協働推進課で行っている。

転入・転出に住基ネットアプリを活用しています

問 住民基本台帳費で、住基ネットアプリ改修の効果について伺う。

答 アプリケーションの改修はこの夏予定している。海外転出すると住民票がなくなってしまうので、戸籍の基本情報を用いて移動させるものである。



陳情の審査結果

No.	受理年月日	件名	陳情者氏名	結果
1	令和5年5月22日	別荘地内の太陽光発電設備事業に関する陳情	榎本 恭子	不採択
2	令和5年5月22日	別荘地内における太陽光発電設備設置に関する陳情	加藤 文明 ほか3名	不採択

議案等の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 6号	那須塩原市監査委員の選任について	同意
同意第 7号	那須塩原市農業委員会委員の任命について	同意
同意第 8号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第61号	令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第62号	那須塩原市税条例の一部改正について	可決
議案第63号	契約の締結について	可決
議案第64号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
議案第65号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
議案第66号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合同規約の変更について	可決
議案第67号	佐野地区衛生施設組合が栃木県市町村総合事務組合から脱退することに伴う財産処分について	可決
議案第68号	令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第69号	契約の締結について	可決
議案第70号	財産の取得について	可決

こんなことを聞きました



公明クラブ
田村 正宏議員



志絆の会
鈴木 伸彦議員



「県北拠点づくり」について

問「那須塩原駅周辺まちづくり事業」の想定事業期間及び想定エリアについて伺う。

答市長 具体的な期間は未定であるが、非常に長い期間を要すると判断している。また、想定エリアは、那須塩原駅から新庁舎予定地を軸としたエリアである。

問東京一極集中の是正を目的とした、栃木県の取り組みである「分散型社会構築」との連携について伺う。

答市長 分散型社会の構築については福田知事とも認識を共有しており、今後も気運の醸成に努めていきたい。

問立地適正化計画に定められた居住誘導区域内の居住人口を伺う。

答建設部長 那須塩原駅周辺地区約4,400人、黒磯駅周辺地区約2万4,400人、西那須野駅周辺地区約1万8,200人、関谷地区約1,100人である。

多死社会到来を見据えた行政サービスの拡充について

問那須聖苑と大田原火葬場の使用料金の格差は解消すべきではないか。

答市民生活部長 北那須3市町広域連携推進検討会での協議において、料金の統一は困難との結果が出ており、当面は現行通りである。

問無縁遺骨や引き取り手のない遺骨等を埋葬するための合葬式墓地や納骨壇を整備する考えはあるか。

答市民生活部長 合葬式墓地等の整備については検討を進めている。



2期目の課題と抱負について

問2期目の重点施策、那須塩原駅周辺整備について伺う。

答市長 本市は5年連続市民の転入超過である。これは那須塩原駅が新幹線駅であることが非常に大きい。軽井沢や鎌倉駅の場合は降りた瞬間に、初めて来た人が「おお、これが軽井沢か」とか、「ここが鎌倉か」というのが何となく分かる。那須塩原駅もそんなふうにしていきたい。また、那須塩原のブランディングをしっかりと立てていく必要がある。市民や有識者の意見を基に、イメージをビジュアル化して取り組んでいきたい。

問コロナ後の問題として自粛続きによる子どもたちの現状認識と課題、取り組みについて伺う。

答市長 コロナ自粛により子育て世帯が孤立化し、虐待、不登校が増えるのではないかと危惧している。本市だけではなく県やNPO、民間団体と連携し情報を共有していかなければならない。相談窓口をしっかりとつくるのが重要と考え、子育て相談課を集約した。その他、母子手帳アプリを導入しDXによる子育て世帯の負担軽減を図っていく。

問高齢者の現状認識と課題にどのように取り組んでいくのかを伺う。

答市長 今かなり独居の高齢者が増えている。独居の高齢者、高齢者のみ、独居じゃないけれども高齢の夫婦だけ、という人がかなり増えており見守りの必要性が非常に出てきている。このような面でもデジタル技術やICTの活用が必要不可欠になってくるとしており、それらの事業を進めていきたい。



相馬 剛議員



ごみ減量化対策について

問 ごみ発生量は令和3年度実績547g/1人1日、不法投棄物の回収量も平成29年と比較し15%減であり、計画で目指す市民・事業者・市の協働による取り組みの成果だと思いが市はどう評価しているか伺う。

答 市民生活部長 1人1日当たりのごみの量は減少傾向、主な要因は、民間店舗での資源物回収により、市で扱う資源物が減少している。家庭系ごみはコロナの影響により減少していないため従来の指標では評価が困難。今後は新たな指標に基づき分別徹底の周知、プラスチックごみ分別回収の検討を進め、ごみ発生抑制を図り、引き続き有料化による排出抑制や資源化の促進効果を維持する。

学校部活動の地域移行について

問 部活動の地域移行は、少子化による部員不足と指導教員の働き方改革と理解しているが、受け皿となる地域、指導者、環境、費用などが課題とされるなか、本市の現状と取り組みを伺う。

答 教育長 令和4年度から運動部活動において地域における持続可能なスポーツ環境の整備を進めている。ただちに受け皿となり得る団体はないが、既存スポーツ少年団の拡大、新たなスポーツクラブの立ち上げに、地域の方々と協議を進めている。指導者は、スポーツ推進委員、退職教員を中心に選任し、今後人材発掘を行う。費用負担は保護者から部費を徴収している。



山本 はるひ議員



プラスチックの分別回収とリサイクルについて

問 プラスチックの拠点回収とリサイクルの今後の展望と課題を伺う。

答 市長 5カ所程度拠点を増やしていきたい。リサイクル事業者と協議を進め、*マテリアルリサイクルによる資源循環を目指していきたい。課題は費用をいかに抑えるか、CO2の脱炭素効果をどれほど見込めるかなどである。

問 市民生活部長 今年5カ所の公民館でモデル事業を展開して、経費について検証をしてから実施に向けて検討していきたい。

問 周辺市町、栃木県と連携、協力する考えは。

答 市民生活部長 リサイクルを進めるためには、一定量のプラスチック回収の量が見込めるなど、民間業者が参入しやすい環境を整える必要がある。周辺市町、県との連携は重要で日ごろから情報共有に努めている。

公民館使用料の適正化について

問 公民館が原則無料である理由を伺う。

答 教育部長 社会教育、地域活動の拠点、自主的な学習活動を奨励し援助する施設として生涯学習の振興を図るために原則無料としている。

問 公民館を〇〇教室のような形で使っていることを把握しているか。

答 教育部長 そういう団体は公民館を利用できないので、申請受付の段階でお断りしている。

問 公民館使用料について検討を始めているか。

答 教育部長 生涯学習課の中で組織だった検討はまだ行っていない。公民館の手数料、使用料については検討していきたいと考えている。

*マテリアルリサイクルとは

廃プラスチックの再資源化の方法のひとつで、廃プラスチックを原料としてプラスチック製品に再生すること。プラスチックリサイクルには他に、化学原料に再生するケミカルリサイクル、焼却してエネルギーを回収するサーマルリサイクルがある。

益子 丈弘議員



海外との連携の取り組みについて

問 今後、近隣市町を含め市民や企業や団体等を巻き込んだ取り組みを考えられないか。

答 市長 海外との交流は、当初の目的より広い分野で恩恵をもたらしている。今後は、本市だけでなく近隣市町を含め民間企業等とともに海外と連携に取り組んでいくことは重要と考える。行政と民間の有する人材やノウハウなど官民協働、さらには民間活力をいかしたマッチング等の取り組みも研究していきたい。

問 今回のトップセールスを受けて、相互の民間企業や関係団体との連携が重要と考えるが、どのように進めていくのか。

答 企画部長 今後、民間企業等が自立、自主的に交流を深めて取引できる環境を整えるため行政として支援可能性の研究と検討をしていきたい。

街のにぎわいについて

問 「くるる」と「みるる」の直近3か年の来館者数の推移を伺う。

答 産業観光部長 「くるる」は来館者は2年度が24,931名、3年度が31,250名、4年度が46,229名で、「みるる」来館者は、2年度が147,948名、3年度298,837名、4年度は347,513名である。

問 庁内の横断的な組織「歩いて楽しむまちなかツーリズムプロジェクトチーム」について伺う。

答 産業観光部長 庁内のプロジェクトチームで、9つの部署のメンバーで組織されておりさまざまな観点から、都市計画、公共交通、商工観光などで周遊の仕掛けづくり、駅前の新たなイメージ形成などの検討を重ねている。



黒磯駅前の図書館の様子

敬清会 大野 恭男議員



コロナ後の市政運営について

問 那須塩原駅周辺のまちづくりをどのように考え実現していくか伺う。

答 市長 那須塩原駅周辺は、那須塩原市で暮らすとはこういうことだ、という那須塩原ライフを体現する場として整備する。駅を降り立った全ての人が感動し、「来たい、遊びたい、暮らしたい」と思える「那須塩原らしさ」を体現するためソフトとハード両面から、市民や民間企業等の声を聴きながら、まちづくりに取り組む。

問 那須塩原らしさを体現するため協議会を立ち上げ、今後どう展開していくのか伺う。

答 企画部長 今年度中に協議体でビジュアル化し、それ以降具体的な整備計画や手法を具現化していきたい。

高齢者福祉事業について

問 公共交通をベースとした移動手手段の確保に向けた検討における現状と課題、今後の対応を伺う。

答 保健福祉部長 現状は、移動手手段の確保が困難で、同居等の親族による外出支援を受けられない70歳以上の高齢者に、タクシー料金の一部を助成している。課題は、同居等の親族の状況や年齢要件等でタクシー券を利用できない高齢者が存在することである。今後は、全ての高齢者の移動手手段が確保できるよう地域公共交通と連携し、第9期計画の中で検討したい。

問 介護認定調査に関する現状と課題を伺う。

答 保健福祉部長 認定調査員が不足しており認定調査に遅れが生じている。今後デジタル機器の活用、業務委託を含め調査の遅れを取り戻していく。





中里 康寛議員



那須塩原ブランドについて

問 新規性や先進性が低下していたことで認定基準の見直しに取り組んだが、どのような内容か。

答 産業観光部長 今回は、真新しさや未来へつながる展望性も重視し、「魅力度」という基準を加えて、手に取った人が商品を誰かに薦めたいとなる認定品を目指した。

問 私も今年3月に今回初めて開催された市民参加型の公開審査会の審査員に応募をして参加したが、公開審査会に対する市民審査員の反応は。

答 産業観光部長 「こんなに本市に良い物があることを初めて知り、誇りに思った」、「また機会があれば参加したい」等の声が挙げられた一方で、酷評や厳しい意見もあり、皆さん真剣に取り組んでおられる状況が感じ取れた。事業者にとっても生の意見を聞くことができ相乗効果が得られた。

問 認定品には、生乳産出額全国2位を誇る本市の自慢の生乳を生かした乳製品もあるが、全国2位という「地位」だけが独り歩きし酪農家や市民は、その状況すら知らない人もいると耳にする。今後は、「全国2位だからこうなんだ!」という確たる本物の地位を確立していく必要がある。市としては認定品事業との連携をどう考えているか。

答 産業観光部長 これまでも牛乳の消費拡大の施策にも取り組んでいるが、人口減少、少子高齢化という情勢も背景に、牛乳単体では消費量が増えるものではない。本市には世界レベルの賞を受賞したチーズを製造する乳製品工房もあり、認定品事業と連携し、高付加価値を目指す取り組みを展開していく要素はある。今後も関係団体等と連携し、生乳自慢の那須塩原市の構築をしていきたい。



星 宏子議員



重度心身障害者医療費助成について

問 県内においても重度心身障害者医療費の現物給付を実施する自治体があることから、本市も導入する考えはあるか伺う。

答 子ども未来部長 現物給付は、重度の障害のある人や家族にとって医療機関での自己負担の支払いや市への助成申請の手間が省ける利便性があることは認識している。一方、現物給付とした場合、受診増による助成費の増加、県補助金や国民健康保険の国庫負担金の減額など、約2億5,000万円の財政負担を伴うことが見込まれるため現時点では現物給付の導入は難しい。なお、助成手続が簡便化されるよう、オンライン化による申請について今後研究していきたい。

問 自動償還払いの導入について伺う。

答 子ども未来部長 自動償還払い制度導入は国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金の協力が必要になるため、相談をしてみたい。

生態系を活用した適応策* (E b A) の推進

問 本市において策定した那須塩原市気候変動対策計画の生態系を活用した適応策 (E b A) 活用について伺う。

答 市長 E b Aは生態系を分析し活用すると、気候変動のリスクが減る手法で、全国的にまだ取組事例は少ないが、那須塩原では既にこのE b Aを始めている。令和2年度から豪雨を想定した内水氾濫シミュレーションを行い、森林が荒廃した場合、浸水が増えてしまうため森林の保全がE b Aとして機能するというのをしっかりと分析をして示した。今後しっかりと周知を図っていく。

*E b A (Ecosystem-based Adaptation の略) 既存の生態系を活用して気候変動のリスクや負担を軽減する。



齋藤 寿一議員



スポーツツーリズムの推進について

問 スポーツコミッションの体制づくりに当たり、県との連携について伺う。

答 教育部長 現在栃木県でも設立に向けた準備を進めており、県主催の説明会や会議で情報交換を行い、連携を図っていく。

問 魅力を伝えるプロモーション活動の内容を伺う。

答 教育部長 市独自の合宿プログラムの策定、合宿誘致のためのPRガイドブックを作成していく。

問 学生トレーニングキャンプ(合宿) モニターツアーについて伺う。

答 教育部長 本市は駅伝が盛んなため、順天堂大学と那須拓陽高校女子駅伝部の合宿、千葉大学オリエンテーリング部のモニターツアーを実施した。

市文化財保存活用地域計画について

問 市内の指定文化財は国・県・市が指定する有形文化財、民族文化財、記念物を合わせて172件と、登録文化財は国の有形文化財の6件があるが、基本理念の「つなぐ」・「拓く」・「つくる」において、今後の保存計画について伺う。

答 教育部長 今後文化財の指定等の推進、SNSを活用した情報発信、郷土に関する学習の推進などを行うことで保存活用を図っていく。

問 文化財保存活用区域を3つの区域と設定したが今後の課題と方針について伺う。

答 教育部長 黒磯駅から板室温泉区域、博物館中心の三島区域、塩原温泉区域を設定した。課題は後継者不足等により、文化財の保存、継承が困難になりつつあること。今後は複数の文化財を総合的・一体的に保存、活用しその魅力を高めていく。



佐藤 一則議員



鳥獣害の対策について

問 直近3年間の主な鳥獣の捕獲数について伺う。

答 産業観光部長 鳥類が、令和2年度が433羽、3年度が280羽、4年度が303羽、獣類が2年度913頭、3年度847頭、4年度926頭で、鳥類、獣類とも4年度は増加状況にある。

問 捕獲者と捕獲方法について伺う。

答 産業観光部長 市が委嘱している那須塩原市鳥獣被害対策実施隊がわなまたは銃器で捕獲する。

問 実施隊の編成と活動範囲について伺う。

答 産業観光部長 黒磯地区4班、西那須野地区1班、塩原地区3班の合計8班編成で活動範囲は市内全域である。

問 捕獲した実施隊に対する報酬はあるのか伺う。

答 産業観光部長 獣類の種類によるが鹿の成獣の場合は、1頭当たり国から8,000円、県から2,000円、市から5,000円の合計15,000円交付される。

問 直近3年間の被害額と被害面積について伺う。

答 産業観光部長 令和2年度が56,643,000円、4,740アール、3年度が49,345,000円、5,630アール、4年度が35,973,000円、3,920アールである。

問 被害軽減の具体的対策について伺う。

答 産業観光部長 鳥獣被害防止計画による捕獲、狩猟免許助成、防護柵設置助成、鳥獣管理士による集落学習会の開催、センサーカメラなどを活用した獣群の動態把握と効果的な捕獲活動、近隣市町との連携による広域的な捕獲を掲げている。

問 被害軽減の目標について伺う。

答 産業観光部長 令和3年度の56,757,000円、6,074アールから令和7年度には48,377,000円、5,463アールへ軽減することが目標である。





小島 耕一議員



まつりのあり方について

問市が中心となって実行委員会を運営しているまつりの課題について伺う。

答市長 西那須野ふれあいまつりや黒磯の巻狩まつりは、当時民間のイベントが少なかったことから行政で始めたが、現在は民間で広がっており、行政主体ではなく、民間の皆さんで主体になっていただけないかと今回のような判断をした。

問西那須野ふれあいまつりの時期に民間団体がまつりを主催するとのことだが、どのようなまつりを開催するのか。

答西那須野支所長 8月下旬に西那須野商工会が2023西那須野ふれあいまつりとして、商工会員や関係団体による衣食住に関する展示、販売、各種イベントを開催する予定。

問市では、この民間団体が開催するまつりが今後の姿の一つと考えているのか。

答西那須野支所長 今回実施するまつりが新たなまつりの開催であり、今後のまつりの姿である。

問開こん記念祭の式典を開かないのは問題。見直してはどうか。

答西那須野支所長 これから検討していく。開催を確約するものではないため、了承いただきたい。

アートを活かしたまちづくりについて

問新潟県十日町市の大地の芸術祭のようなイベントを開催してはどうか。

答市長 世界に通用するような芸術祭を行うには多大なる労力が必要であり、すべてのリソースを芸術に特化しなければならないので、慎重にしたいと思っている。



過去の西那須野ふれあいまつり「流し踊り」の様子



森本 彰伸議員



コロナ後の観光政策について

問コロナの脅威が少なくなってきたが、以前行ったりフレッシュキャンペーンを市民向けに行う考えはないか伺う。

答産業観光部長 観光事業者に金銭的な後押しとなった宿泊支援施策であるが、事業者のターゲット以外の利用もあり、現状観光分野は回復傾向にあることから、今すぐ実施することは考えていない。今後の動向は見守る必要があると考える。

問ターゲット以外の観光客とはどういう人か伺う。

答産業観光部長 宿泊事業者のコンセプトにそぐわない観光客があるという声があり、そのことを申し上げた。

問これから「多様な観光客を迎えよう」、「いろいろなお客様に対応できる観光地であろう」としているときに、ターゲットにそぐわない観光客ということには納得できない。市民への観光業の理解にもつながるリフレッシュキャンペーンを検討できないかもう一度伺う。

答産業観光部長 財源の問題もあり今すぐ行う考えはないが、回復傾向にある観光にどういった施策が合うのか検討する必要はあると考える。

問観光は総合産業であり、その振興は市民の生活を豊かにしていくものであるということを市民に分かりやすく、「見える化」できないか伺う。

答産業観光部長 市民が受ける恩恵、経済への効果の見える化は必要だと思っており理解促進を図るため研究していきたい。

答市長 コロナ禍の観光施策で、入湯税を用いてのPCR検査などコロナのときに得られた知見をこれから生かしていきたい。



堤 正明議員



子育て支援における子育て相談課の役割について

問子育て支援の中でも、最優先で取り組む必要があるのは、困難を抱えた子どもや家族への支援であることから、子育て相談課の役割を伺う。

答子ども未来部長 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない、包括的な支援体制のさらなる充実を目的として、母子保健担当と児童家庭担当の支援を一体化し、子どもの養育環境の向上を目指した「子育て相談課」を新設した。

ゆータク再編と地域公共交通について

問令和5年3月定例会議にて「ドア to ドア方式のデマンド交通の導入を求める陳情」が全会一致で採択された。本市のゆーバス・ゆータクの見直しについて伺う。

答市民生活部長 「交通空白地域」が存在し、移動手段確保が課題である。交通空白地域の解消や利便性向上を目的として再編を検討する。

ゆータクの運行内容や運行区域の見直しを伴う再編や、決められた区域・区間での移動を定額で受けられる新たな交通サービス導入を検討する。

新たな交通サービスの運行の案が固まり次第、運行事業者と協議し、国などへの手続を整え、早期に行いたいと考えている。

問下野市では自宅から送迎するデマンド交通を市内全体、1回300円で実施しているが、参考にできないか。

答市民生活部長 下野市は面積が本市の1/8で平坦な市街地という差があるが、他市も参考にしながら本市の実情に合った新たな交通サービスの導入に向けて検討したい。



林 美幸議員



コロナ後におけるONSEN・ガストロノミーツーリズムについて

問日本遺産と連携した施策として昨年度実施した西那須野エリアでのONSEN・ガストロノミーウォーキングの参加者内訳を伺う。

答産業観光部長 参加者は、合計162名、市民が84名、市外参加者は78名である。

問日本遺産の活用を推進する那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会の詳細と、導入しているココシルアプリについて伺う。

答産業観光部長 協議会は、日本遺産に認定されたストーリーに関連した歴史や文化財を整備、活用して観光振興を図り、地域活性化の推進を目的としている。アプリは、日本各地の観光地が掲載されている。那須野が原のページは日本遺産の構成文化財の評価が写真入りで紹介され、位置情報もGoogleマップとの連携により掲載されており、日本遺産の周遊促進に効果的なアプリである。

フードドライブについて

問食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針にもあるとおり、重層的支援の枠組みに官民連携の食品支援が生活者困窮支援として位置づけられることが必要だと考える。また、那須塩原市市政協賛サポート企業制度に企業や法人が登録されることも重要と考えるが、市のフードドライブの現状と考え方について伺う。

答保健福祉部長 NPO法人や地域団体のフードドライブ活動やフードバンクの情報を収集し、市として可能な支援について検討したい。





金子 哲也議員



ぼっぼ通りを花で満たし、日本一の散策道に

問 ぼっぼ通りを観光の拠点にしたいのだが、市は何らかの支援ができないか。

答 産業観光部長 道路の緑化については、道路花いっぱい事業による支援を行っている。

答 市長 できる場所で何か良い方向でやりたいなと思っている。

特別支援学校の寄宿舎閉舎について

問 障害者の子どもが一人立ちできるようにしなくては将来大変なことになってしまう。県のことだから知らぬ存ぜぬでは済まないと思う。在籍する生徒の42%を占める那須塩原市として寄宿舎の存続を要望していくべきではないか。

答 教育長 この件については答弁を差し控えていただくと。県から相談したいという話があれば相談させていただく。



現在のぼっぼ通りの様子



星野 健二議員



道の駅「明治の森・黒磯」について

問 基本コンセプトに基づく施設整備に対する整合性と、地域事業者との連携について伺う。

答 産業観光部長 分野ごとに知見と実績がある3人のアドバイザーを迎え、助言や支援を受けながら検討を進めている。直売所やレストランで地元の農産物や特産品を積極的に活用し、品質の高さをアピールし新たな農業を支援していきたい。地域事業者との連携については、商品開発や観光資源等を活用した周遊等、地域の魅力を生かした取り組みを行っていききたい。道の駅が通過点ではなくて目的地になるような空間を作り出し、魅力ある新たな観光を生み出せるように進め、地域の魅力を最大限に引き出して、地域はもとより市の魅力度向上にもつなげたい。

問 再整備に当たって、どのような機能が追加され、また改善されたのか。

答 産業観光部長 災害時への対応を想定した蓄電池の設置等、防災機能を整備する。光熱費の削減及び災害時の事業継続性を担保するために、*ZEBを採用し、脱炭素社会における環境への情報発信の場も築いてまいりたい。

問 本市が目指す道の駅「明治の森・黒磯」の将来像について伺う。

答 市長 食や農業、それと観光といった要素をしっかりと発信できる、食の発信基地としても道の駅に大変期待をしている。那須塩原ライフの1つの要素になり、思い出の1ページとして心に残る道の駅にして、那須塩原ブランドの向上にもつなげていきたいと思っている。

*ZEB(ゼブ)

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。



道の駅「明治の森・黒磯」イメージ図



三本木 直人議員



接骨木地区内における養鶏場の新規計画について

問 大規模土地利用に関する県事前協議の進捗について伺う。

答 市長 県の事前協議について、事業者から提出があった栃木県土地利用に関する事前指導要綱に基づく事前協議書を令和5年1月に受理し、庁内関係部署において所要の指導を行うとともに意見を取りまとめ、土地対策委員会での協議を経て、5月9日付で県に進達した。

問 今回の計画については、不安に感じている地域住民も多く存在している。市としてはどのように対応していくのか伺う。

答 市長 私自身、事業者の役員と面会をし、周辺環境に十分配慮し、地域住民の方々に丁寧な説明、対応を行っていただけるよう依頼をした。

那須高林産業団地の地中障害物について

問 今回新たに2区画分の損害賠償金2億5,584万円を企業2社に支払うことからその理由について伺う。

答 産業観光部長 当該立地企業の区画から出土した碎石の量が多大であったこと、工事スケジュールの遅延が要因である。

問 立地企業、原因者に対しての今後の対応を伺う。

答 産業観光部長 企業への対応には、操業開始等への影響がでないよう、丁寧な対応に努める。

原因者への対応としては、現在、施工業者等に聞き取り調査を実施しており、この先原因究明をし、後に原因者を特定し、原因者に対して損害賠償を求めていく。



齊藤 誠之議員



より良い中学校生活をおくるために

問 校則及び制服は、どちらも学校生活をよりよく送るためのツールである。それらが自分たちを阻害しているという現状になると、子どもたちは生きづらくなる。学校生活を楽しくするためのルールづくりを進めるために、中学生ならでの主体的な意思や判断が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答 教育長 よりよい中学校生活を送るために一番必要なことは、学校生活の中で、発言し、直し、改善できたという成功体験を積み上げることで。子どもたちの気持ちを支えながら背中を押してあげる、それが我々教員や保護者の助力があれば、さらに進むと思っているので、働きかけをぜひ進められるよう頑張っていきたい。

本市の公園整備について

問 インクルーシブ遊具の設置については、公園設備の更新時期にかかわらず設置を検討するとされたが、改めて遊具の設置の有効性と設置に向けた市の考えを伺う。

答 建設部長 インクルーシブ遊具は、誰もが遊べる公園施設として有効であるとの認識のもと、設置については更新時期にかかわらず行っていききたいと考えている。なお、遊具の設置場所については、駐車場からの距離などの周辺状況を勘案しながら検討していく。

問 バリアフリーに関して特化したトイレの整備について、本市の現状はどうなっているか伺う。

答 建設部長 車椅子で利用できるトイレが12公園で17か所あるが、オストメイト用の設備がこのトイレにも設置していない現状がある。



Future

～わたしの夢～ No.24

東原小学校 6年

たけだ りん
武田 凜さん

人を喜ばせるパティシエになりたい

私の将来の夢はパティシエです。理由は2つあります。1つ目は、お菓子を作ることが好きだからです。小さい頃、母と一緒に誕生日のケーキを初めて作りました。上手く作れませんでした、ケーキを食べた家族はとても喜んでくれました。自分の作ったものが人に喜んでもらえる仕事は、素敵だなと感じました。2つ目は、ケーキ屋さんの空気が好きだからです。私はいつも、お店に入ったときのふんわりとした甘い香りに包まれたり、ショーケースに並んだカラフルなケーキを見ていたりすると、わくわくした楽しい気分になります。

将来、私もフルーツをたくさんせたカラフルなケーキを作って、たくさんの人を喜ばせたり、楽しい気持ちにさせたりしたいです。



凜さんは、誰に対しても親切に接することができ、縦割り班の班長としても、下級生の面倒をよく見えています。また、自ら進んで、朝の校内清掃を行っています。自分のやるべきことに精一杯取り組み、夢に向かって頑張っている凜さんを推薦します。
(推薦者 野崎 健太先生談)

議 会 暦						
日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
					本会議 再開	
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 会派代表質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問・議案質疑	
10	11	12	13	14	15	16
	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会		
17	18	19	20	21	22	23
				予算常任委員会 議員全員協議会	本会議 散会	
24	25	26	27	28	29	30

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。
本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

広聴広報委員会新体制発足

後列左から

林美幸、室井孝幸、森本彰伸、齊藤誠之

前列左から

中里康寛、星野健二（副委員長）、星宏子（委員長）、
小島耕一、堤正明



編集後記

広聴広報委員会の委員会構成が変わり、議員任期後半の2年間【議会だより】の編集に関わらせていただくことになりました。市民の皆様にはわかりやすく親しみのある議会だよりを目指して取り組んでまいりますので、ぜひご意見やアイデアなどお寄せいただけたら幸いです。これからの紙面づくりの参考にさせていただきたいと思っております。後半2年間、新編集委員一同頑張っておりますので何卒よろしくお願いいたします。(星宏子)